NIRO

NIRO SPHERICAL SURROUND SYSTEM
取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は、保証書とともにいつでもみることができるところに保管してください。

安全上のご注意

本製品を安全に使用頂くために、ご使用の前に必ずよくお読み下さい。

警告 取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

本機を水の近くで使用しない。水滴により火災や感電の原因となります。

キャビネットは外さない。火災や感電の恐れがあります。修理、調整はサービス担当者にご依頼下さい。

通風口から金属や燃えやすいものを入れない。火災や感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけない。人が電源コードの上を歩いたり、重いものを上に載せないで下さい。

排気用の冷却ファンをふさがない。本機の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、ローソクなどを置かない。水や異物が入り、火災、故障の原因になります。

雷が鳴ったら電源プラグにさわらない。感電の原因になります。

本機をAC100V、50/60Hz以外の電源に接続しない。本機は国内専用機です。100V以外の電源に接続すると、本機が故障し、また火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

取扱を誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されます。

電源プラグを抜くときはプラグを持って抜く。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

移動するときは電源プラグを外す。まず電源を切り、電源プラグを抜き、全ての接続を外して下さい。コードを傷つけたり他の機器が落下、転倒することがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを外す。火災の原因になることがあります。

電源コードに熱を発生する器具を近づけない。電源コードが溶けて火災、感電の原因となることがあります。

清掃には乾いた布以外は使用しない。ベンジンやシンナーなど、化学薬品を使用すると外装が溶けたり変質する恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電の恐れがあります。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

目　次

安全上のご注意
**ご使用の前に ・・・

ご使用の前に

■同梱品の確認

注意：

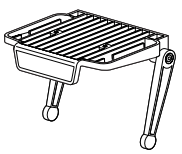
● 本機は、**光デジタルケーブル(角型プラグ)、COAXIAL(同軸)ケーブル及びオーディオケーブルを同梱していません。**お使いになる機器や場所に応じたケーブルを、別紙の「カンタン接続ガイド」をご参照のうえ、電器店等でお買い求めください。

● アンプ

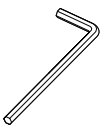
● トップスピーカー(スピーカーケーブル、取付用マウントアダプター付)

● ベーススピーカー(スピーカーケーブル、設置角度調整金具付)

● トップスピーカー取付用マウントアダプター



M4×14皿ネジ×2本
(トップスピーカーをマウントアダプターに固定する際に使用します。)

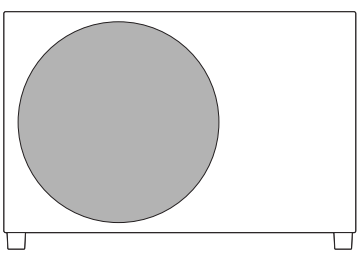


六角レンチ

● ベーススピーカー設置角度調整金具

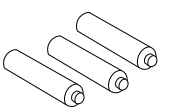
40mm 50mm 60mm

● サブウーファー
(スピーカーケーブル付)



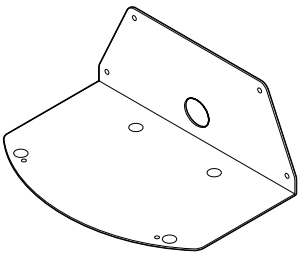
● リモコン

● 単4乾電池(3本)



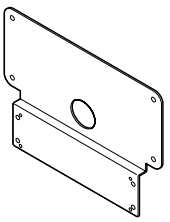
● 取扱説明書
● カンタン接続ガイド
● 保証書

● ベースウォールマウントプレート

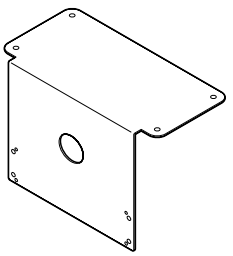


M4×10ネジ×2本
（先端が平らなネジです。ベーススピーカーをベースウォールマウントプレートに固定する際に使用します。）

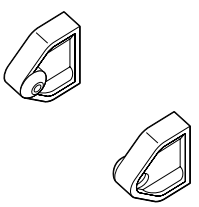
● ウォールマウントプレート



● シーリングマウントプレート

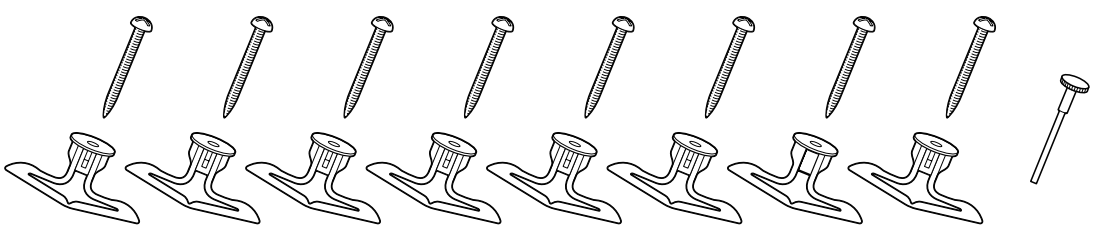


● マウントホルダー



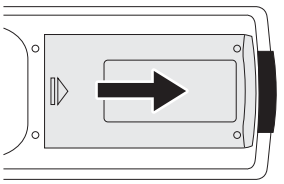
M4×10タッピングネジ×4本
（先端が尖ったネジです。マウントホルダーをウォールマウントプレートまたはシーリングマウントプレートに固定する際に使用します。）

● トグラーアンカー

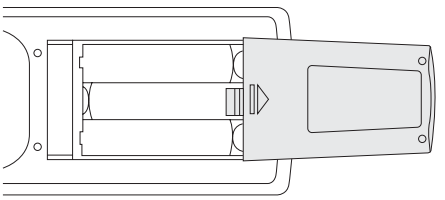


■リモコンの準備

1 電池カバーの⫸矢印の部分を押しながら、矢印の方向にスライドして外します。



2 付属の単4電池3本をセットします。電池ケースに示されている極性に従って向きを間違えないで入れて下さい。

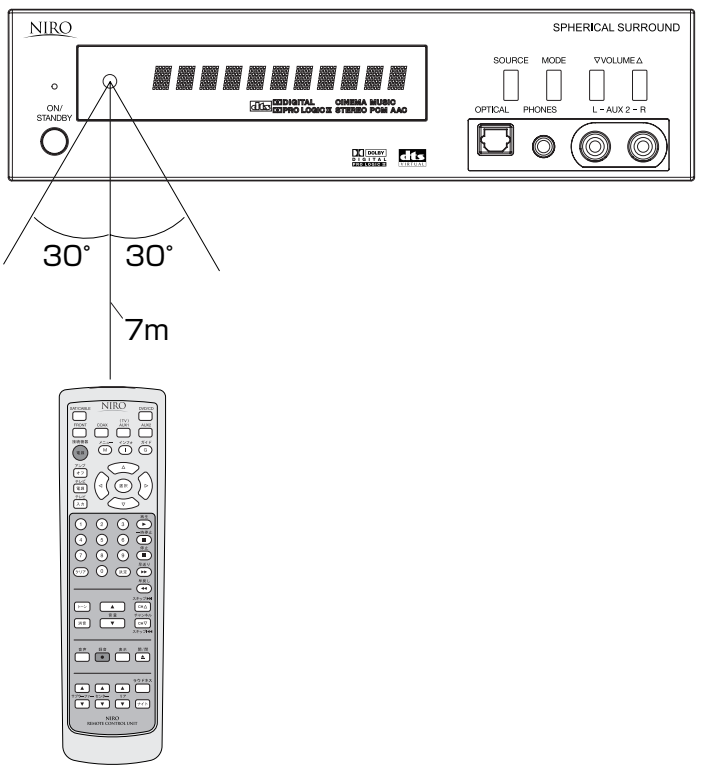


3 電池カバーを閉めます。

- 電池を交換する際には、全ての電池を同時に交換して下さい。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないで下さい。
- アルカリ電池とマンガン電池など、種類の異なる電池を混ぜて使用しないで下さい。

■リモコンの使用について

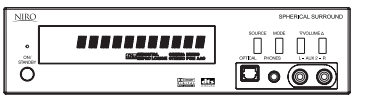
リモコンの受信範囲は、受光部の正面で左右30°、距離は7mの範囲です。

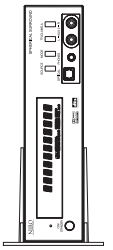


設置のしかた

■アンプの設置

アンプは、通常横置きに設置しますが、縦置きに設置するには、別売のスタンド(NIRO SPA VERTICAL STAND)をご利用ください。

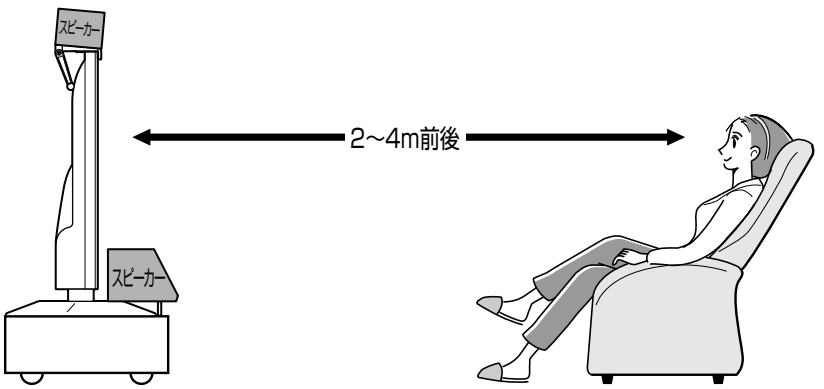




■スピーカーの設置

スピーカーを適切な位置に設置すると、最良のサラウンド効果が得られます。
下記のイラストを参照して、スピーカーを設置してください。

●スピーカーとの距離

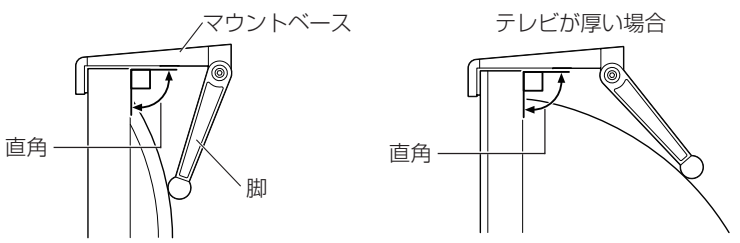


●トップスピーカーの設置

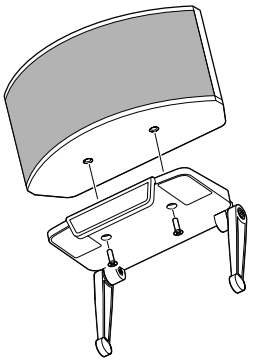
トップスピーカーはテレビ上部に設置します。壁掛テレビの場合は、トップスピーカーを壁または天井に設置してください。

テレビの上に設置する場合

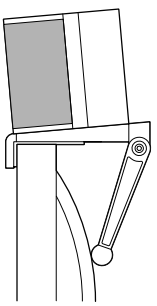
1 図のようにマウントアダプターをテレビの上面に置き、マウントベースの脚がテレビの背面に当たるように位置を調整します。テレビ画面とマウントベースの底面が直角になっていることを確認し、付属の六角レンチで仮固定をします。(脚が動かない程度に軽く固定してください。)

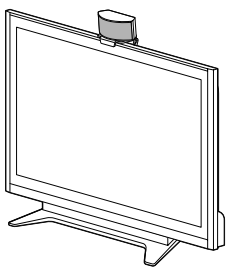


2 マウントベースの脚を仮固定したまま、一旦テレビから取り外します。付属の皿ネジを使用して、トップスピーカーをマウントベースに固定します。
※トップスピーカーが落下しないようしっかり固定してください。



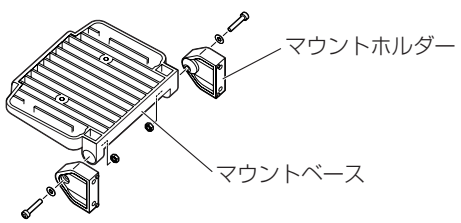
3 再度マウントベースをテレビの上に置きます。テレビ画面とマウントベース底面が直角になっていることを確認し、付属の六角レンチを使用して六角穴付ネジを締め、脚を完全に固定してください。このとき、トップスピーカーの上面は手前側が奥側よりも少し低くなります。
※脚を固定する六角穴付ネジが完全に締まっていることを確認してください。設置および固定が不完全な場合、トップスピーカーの落下など思わぬ事故の原因となります。



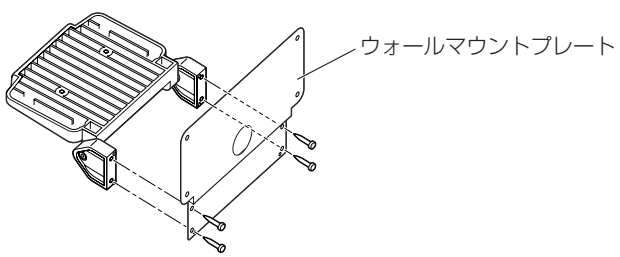


トップスピーカーを壁掛にする場合

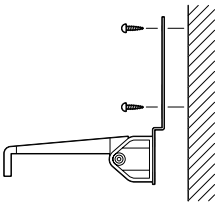
1 付属の六角穴付ネジを緩めてマウントベースから脚を取り外した後、六角穴付ネジ、ワッシャー、ナットを使用して、図のようにマウントベースにマウントホルダーを取り付けます。



2 付属のネジを使用して、図のようにマウントホルダーとウォールマウントプレートを固定します。

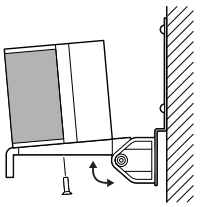


3 ウォールマウントプレートを壁に固定します。
※石膏ボードの壁に取り付ける際は付属のトグラーアンカーを使用してください。トグラーアンカーの使用方法は10ページをご覧ください。



注：適切なネジを使用してウォールマウントプレートが脱落しないよう、壁にしっかり固定して下さい。落下等、思わぬ事故の原因となります。

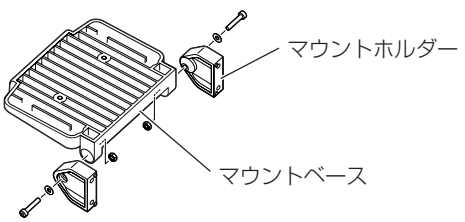
4 付属のM4×14皿ネジを使用して、トップスピーカーをマウントベースに固定します。
※トップスピーカーが落下しないようしっかり固定してください。



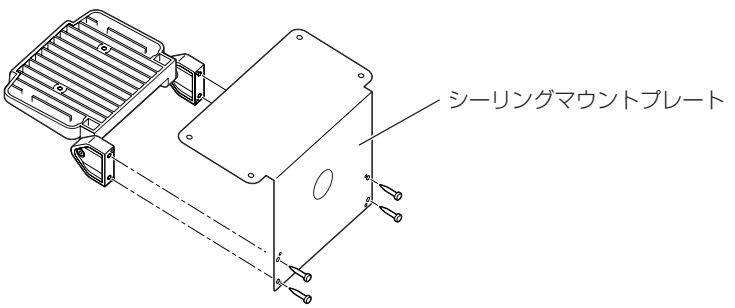
注：トップスピーカーが視聴者の頭部に向くようマウントベースの取付角度を調整して下さい。

トップスピーカーを天井に設置する場合

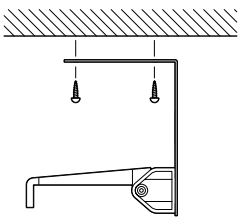
1 付属の六角穴付ネジ、ワッシャー、ナットを使用して、図のようにマウントベースにマウントホルダーを取り付けます。



2 付属のネジを使用して、マウントホルダーとシーリングマウントプレートを固定します。

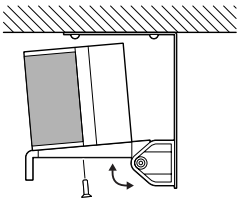


3 シーリングマウントプレートを天井に固定します。
※ 石膏ボードの天井に取り付ける際は付属のトグラーアンカーを使用してください。トグラーアンカーの使用方法は10ページをご覧ください



注：適切なネジを使用してシーリングマウントプレートが脱落しないよう、壁にしっかり固定して下さい。落下等、思わぬ事故の原因となります。

4 付属のM4×14皿ネジを使用して、トップスピーカーをマウントベースに固定します。
※トップスピーカーが落下しないようしっかり固定してください。

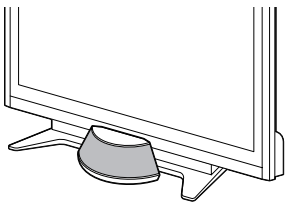


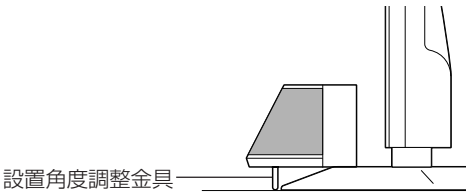
注：トップスピーカーが視聴者の頭部に向くようマウントベースの取付角度を調整して下さい。

●ベーススピーカーの設置

ベーススピーカーはテレビの下部に設置します。壁掛テレビの場合はベーススピーカーを壁に設置することもできます。

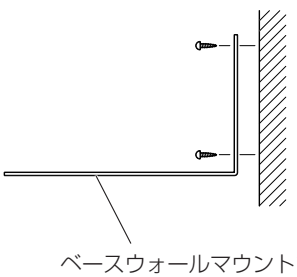
テレビの前面下部中央にベーススピーカーを設置します。液晶テレビの足などで段差がある場合は、付属の設置角度調整金具を使用してベーススピーカー上面が水平となるよう角度を調整して下さい。



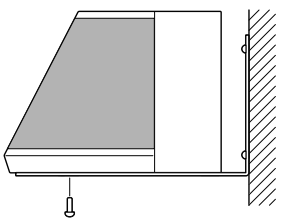


ベーススピーカーを壁掛にする場合

1 ベースウォールマウントプレートを壁に固定します。
※石膏ボードの壁に取り付ける際は付属のトグラーアンカーを使用してください。トグラーアンカーの使用方法は10ページをご覧ください



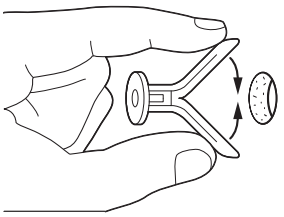
注：適切なネジを使用してベースウォールマウントプレートが脱落しないよう、壁にしっかり固定して下さい。落下等、思わぬ事故の原因となります。



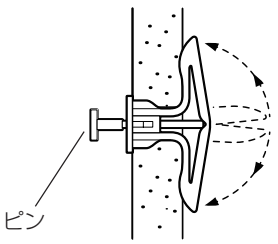
注：ベーススピーカーが落下しないようしっかり固定して下さい。

●トグラーアンカーの使用方法

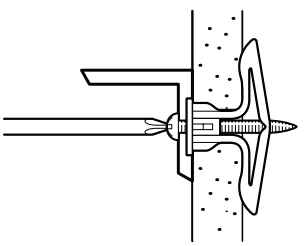
1 壁に適当な大きさの穴を開け、トグラーを穴に挿入します。



2 付属のピンをトグラーに挿入し、壁の後ろ側でトグラーを開きます。その後、ピンを抜きます。ピンをハンマーでたたかないでください。

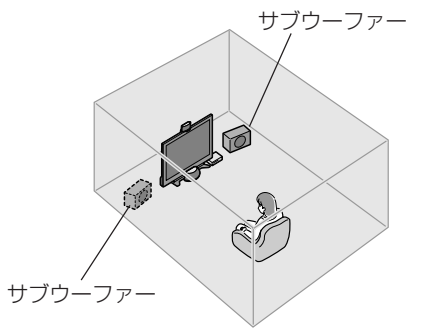


3 取付物を据えてネジを締めます。
アンカーは厚い壁、真壁、または中空壁裏のたて枠材にもしっかりと食い込みます。



■サブウーファーの設置

- ●サブウーファーは、しっかりとした安定した床面に設置してください。
- ●サブウーファーは、テレビの左右どちらかの脇に設置することをお勧めします。
- ●サブウーファーは、防磁処理されていません。テレビから離して設置してください(プラズマテレビや液晶テレビは影響を受けません)。
- ●サブウーファーの横に設けられているバスレフポートの周りに空間を開けて下さい。

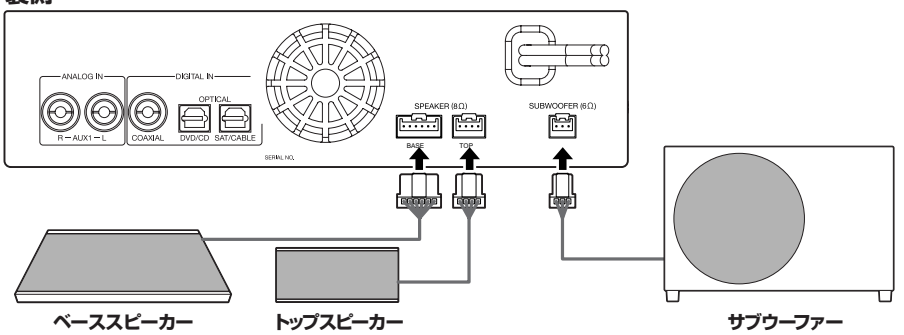


スピーカーの接続

■トップ／ベーススピーカーとサブウーファーを接続する

トップ／ベーススピーカーとサブウーファーを本機に接続します。トップ／ベーススピーカーのコネクターを本機の「SPEAKER」コネクターに、サブウーファーのコネクターを本機の「SUBWOOFER」のコネクターにそれぞれ接続します。接続の際は本機の電源を必ず切っておいてください。

裏側

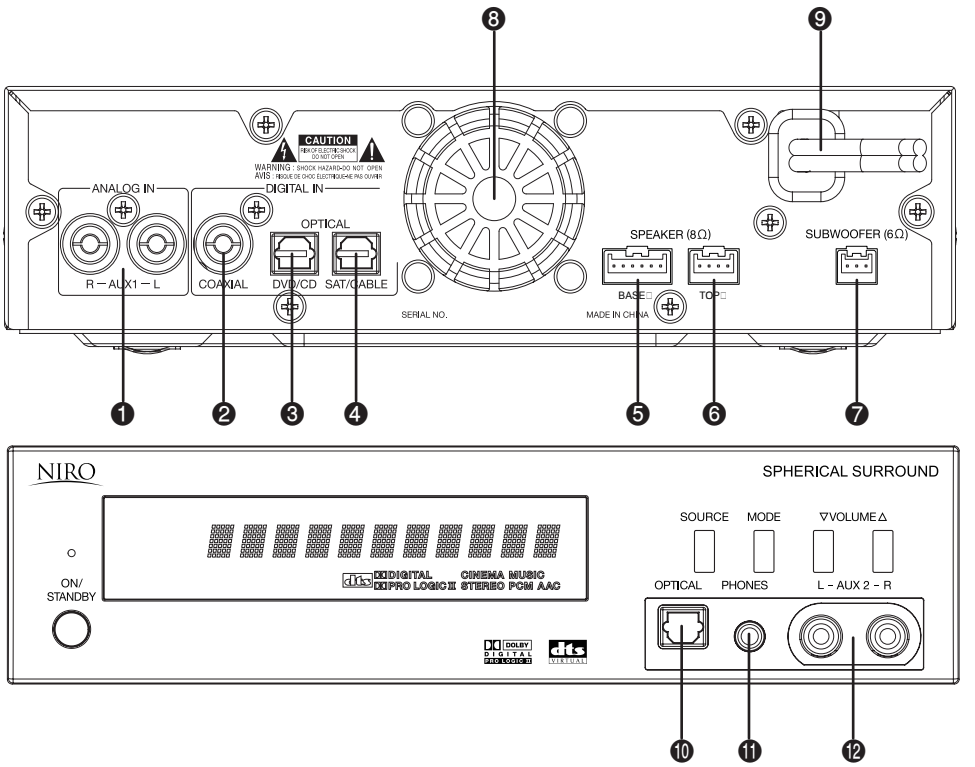


注意:コネクターはロックするまで差し込んでください。

接続できる機器と接続の方法

注意：

- 接続する前に本機および接続する機器の電源を必ず切ってください。
- 映像を映すためのビデオ入力端子(VIDEO IN)はありません。DVDプレーヤー等のビデオ出力をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)間で直接つないでください。
- 本機は、**光デジタルケーブル(角型プラグ)、COAXIAL(同軸)ケーブル及びオーディオケーブルを同梱していません。**お使いになる機器や場所に応じたケーブルを、別紙の「カンタン接続ガイド」をご参照のうえ、電器店等でお買い求めください。



本機は、光デジタルケーブル(角型プラグ)やCOAXIAL(同軸)ケーブルでデジタル音声信号を直接入力できるデジタル入力端子を装備しています。

- デジタル入力(光)：　3系統(リアパネル側ー2系統、フロントパネル側ー１系統)
- デジタル入力(同軸)：　1系統(リアパネル側)
- アナログ入力端子：　2系統(リアパネル側ー1系統、フロントパネル側ー１系統)

- お持ちのデジタルオーディオ機器及びアナログオーディオ機器の音声出力信号を本機に接続して、音を出すには、次ページ以降の方法で接続してください。

●DVDプレーヤーを接続して5.1チャンネルサラウンドを楽しみたい。

5.1チャンネルサラウンドを楽しむ場合は、DVDプレーヤーをデジタル入力端子に接続してください。

- お使いのDVDプレーヤーの光デジタル音声出力を本機の❸「**DVD/CD**」**OPTICAL**(光)デジタル入力端子に接続します。
- お使いのDVDプレーヤーが同軸音声出力端子の場合は、本機の❷「**COAXIAL**」デジタル入力端子に接続します。
- 注意:DVDプレーヤーのメニューからドルビーデジタルとDTSの出力がビットストリームに設定されていることを確認してください。

●CDプレーヤーやMDプレーヤーを接続して音楽を楽しみたい。

- お使いのCDプレーヤーやMDプレーヤーにデジタル音声出力がある場合は、本機の❷「COAXIAL」又は❸「DVD/CD」OPTICAL(光)デジタル入力端子に接続してください。
- CDプレーヤー、MDプレーヤー、ビデオカメラ、カセットデッキのアナログステレオ出力を使用する場合は、フロントパネル側の⓬「**AUX2**」アナログイン端子に接続して下さい。

●デジタル放送で5.1チャンネルサラウンドを楽しみたい

- デジタルチューナー内蔵テレビ、デジタル対応ケーブルテレビチューナーなどの光デジタル音声出力を本機の❹「**SAT/CABLE**」OPTICAL(光)デジタル入力端子に接続してください。
- ＢＳデジタルチューナー/ケーブルテレビチューナーが同軸デジタル音声出力の場合は、本機の❷「**COAXIAL**」デジタル入力端子に接続してください。

注意：

お使いの機器でデジタル音声出力が「AAC」に設定されていることをご確認ください。

●テレビの音声を楽しみたい。

テレビの音声出力を本機のリア側の❶「AUX1」アナログイン端子へ接続してください。

●ビデオデッキの音を出したい。

ビデオデッキのオーディオ出力端子を本機のフロント側の⓬「**AUX2**]アナログイン端子に接続して下さい。

●ゲーム機の音を出したい。

- ゲーム機に光デジタル音声出力がある場合は、本機のフロントパネル側の⓾「**OPTICAL**」(光)デジタル入力端子に接続してください。
- ゲーム機に光デジタル出力端子のない場合は、本機のフロントパネル側の⓬「**AUX2**」アナログイン端子に接続してください。

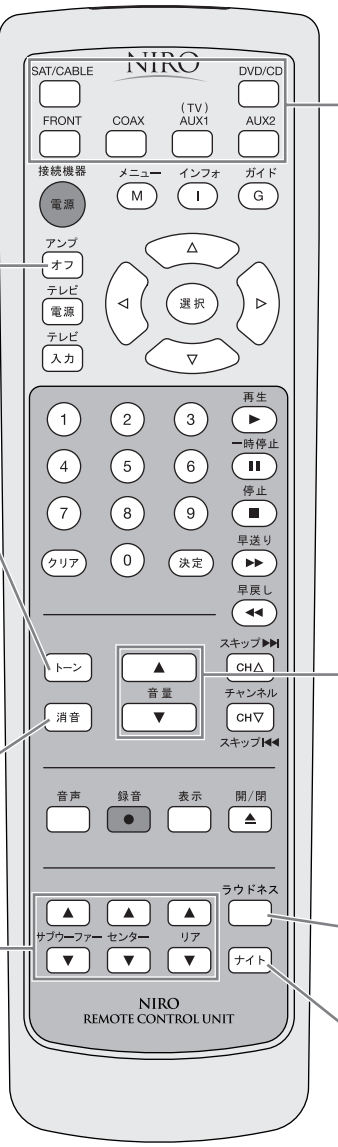
●ヘッドホンを接続したい。

ヘッドホンを使用する場合は、本機のフロントパネル側の⓫「**PHONES**」端子に接続します。
ヘッドホンを差し込むと、スピーカーの音が自動的に消えます。

◎接続が終わりましたら最後に電源を入れてください。

＊DolbyはDolby Laboratories社の商標です。
＊DTSはDigital Theater Systems社の商標です。

リモコンの基本操作



ソース／入力切り替えボタンは、本機の電源を入れ、また視聴する接続機器を選択するために使用します。

本機の電源を切ります。

本機の高音（Treble）、低音（Bass）を調整します。また、ディスプレイの点灯/非点灯などを切り替えることができます。
ステレオ信号の再生モード（PLⅡ OFF／PLⅡシネマモード／PLⅡミュージックモード）の選択やAAC放送再生時のデュアルモノチャンネルの選択に使用します。（20ページ）

本機の再生音量を消音（ミュート）します。

本機の音量を調整します。

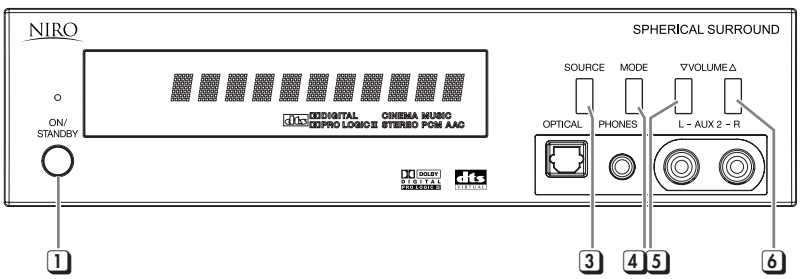
- サブウーファーの音量
- センターチャンネルの音量
- サラウンド（リア）チャンネルの音量

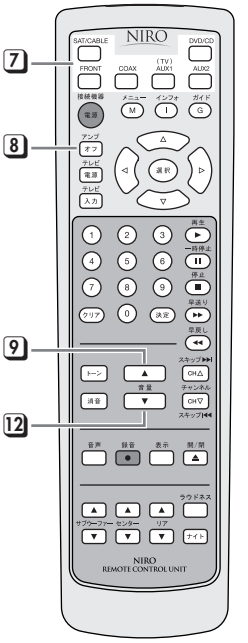
の調整。（16ページ）

ラウドネスモードを選択します。

再生音量の音量の差（ダイナミックレンジ）を小さくするナイトモードを選択します。（18ページ）

デジタルアンプの基本操作





●電源を入れる／切るには

本体から：

本機のフロントパネルの1「**ON/STAND BY**」ボタン（電源の入/待機）を押します。
電源がONすると、スタンバイインジケーターLED（赤）が消灯します。電源をOFFするにはもう一度、1「**ON/STAND BY**」ボタンを押します。電源スタンバイインジケーターLED(赤)が点灯します。

リモコンから：

リモコンの6つの7「**ソース/入力切替え**」ボタンのいずれかを押すと、本機の電源が入ります。
8「**アンプ　オフ**」ボタンを押すと、本機の電源が切れます。

●接続している機器を選択するには

本体から：

本機のフロントパネルの3「**SOURCE**」ボタンを押すたびに、入力ソースが下記の順に変わります。
ディスプレイ表示：

→「DVD/CD」→「SAT/CABLE」→「COAXIAL」→「FRONT OPT」→「AUX1」→「AUX2」→

リモコンから：

リモコンの6つの7「**ソース/入力切替え**」ボタンのいずれかを押すと、本機の電源が入り、本機の入力が選択した機器に切り替わります。

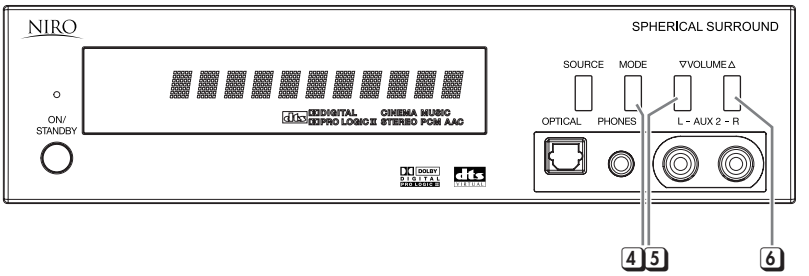
●音量を調整するには

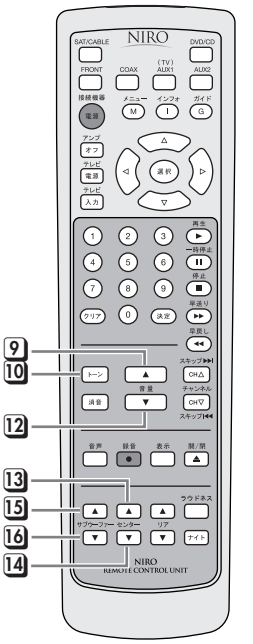
本体から：

全体の音量を上げるには、6「**VOLUME△**」（アップ）ボタンを押します。
全体の音量を下げるには、5「**▽VOLUME**」（ダウン）ボタンを押します。

リモコンから：

全体の音量を上げるには、9「**音量▲**」（アップ）ボタンを押します。
全体の音量を下げるには、12「**音量▼**」（ダウン）ボタンを押します。





●夜間に重低音の響きが気になるときには

重低音(SUB　サブウーファー)の出力をコントロールします

- サブウーファーレベルを下げるか、出力をカット(OFF)して調整します。
- サブウーファーのレベルは、－10dB～＋10dBの間で1dBずつ調整することができます。工場出荷時の設定は、0dBです。また、出力をカット(OFF)することもできます。

注意：サブウーファーの音が歪むときは、サブウーファーレベルを下げてください。

本体から：

1．本機のフロントパネルの4「**MODE**」ボタンを押して、[SUB]を選びます。
2．3秒以内に「**VOLUME**」ボタンを押して、音声のレベルを調整します。
6「**VOLUME△**」(アップ)ボタンでレベルが上がります。5「**▽VOLUME**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。
■出力をカット(OFF)するには、「2」の操作で5「**▽VOLUME**」(ダウン)ボタンを押し、[－10dB]のあとの[OFF]を表示してください。

リモコンから：

1．リモコンの「**サブウーファーアップ**」ボタン又は「**ダウン**」ボタンを押して、レベルを調整します。
15「**サブウーファー▲**」(アップ)ボタンでレベルが上がります。16「**サブウーファー▼**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。
■出力をカット(OFF)するには、16「**サブウーファー▼**」(ダウン)ボタンを押し、[－10dB]のあとの[OFF]を表示してください。

●低音を強調したいときには

低音(Bass　バス)の出力をコントロールします

• 低音のレベルは、－6dB～＋6dBの間で2dBずつ調整することができます。工場出荷時の設定は、0dBです。

本体から：

1．本機のフロントパネルの4「**MODE**」ボタンを押して、[Bass]を選びます。
2．3秒以内に「**VOLUME**」ボタンを押して、音声の低音を調整します。
6「**VOLUME△**」(アップ)ボタンで低音が強調されます。5「**▽VOLUME**」(ダウン)ボタンで減衰されます。

リモコンから：

1．リモコンの10「**トーン**」ボタンを押して、[Bass]を選びます。
2．3秒以内に「**音量**」ボタンを押して、音声の低音を調整します。
9「**音量▲**」(アップ)で低音が強調されます。12「**音量▼**」(ダウン)ボタンで減衰されます。

●高音を強調したいときには

高音(Treble　トレブル)の出力をコントロールします

• 高音のレベルは、−6dB〜+6dBの間で2dBずつ調整することができます。工場出荷時の設定は、0dBです。

本体から：

1．本機のフロントパネルの④「**MODE**」ボタンを押して、[Treble]を選びます。
2．3秒以内に「**VOLUME**」ボタンを押して、音声の高音を調整します。
⑥「**VOLUME**△」(アップ)ボタンで高音が強調されます。⑤「▽**VOLUME**」(ダウン)ボタンで減衰されます。

リモコンから：

1．リモコン⑩の「**トーン**」ボタンを押して、[Treble]を選びます。
2．3秒以内に「音量」ボタンを押して、音声の高音を調整します。
⑨「**音量▲**」(アップ)ボタンで高音が強調されます。⑫「**音量▼**」(ダウン)ボタンで減衰されます。

●アンプの表示の明るさが気になるときには

ディスプレイの表示/非表示を切り替えます

本体から：

1．本機のフロントパネルの④「**MODE**」ボタンを押して、[DISP ON(OFF)]を選びます。
2．3秒以内に⑤⑥「**VOLUME**」ボタンを押して、[ON]または[OFF]にします。「ON」に設定すると、常に、ディスプレイが表示しています。「OFF」に設定すると、設定後、数秒でディスプレイ表示が消えます。(いずれかのボタン操作を行うと表示しますが、表示後数秒で表示が消えます。)

リモコンから：

1．リモコンの⑩「**トーン**」ボタンを押して、[DISP ON(OFF)]を選びます。
2．3秒以内に⑨⑫「**音量**」ボタンを押して、[ON]または[OFF]にします。「ON」に設定すると、常に、ディスプレイが表示しています。「OFF」に設定すると、操作後、数秒でディスプレイ表示が消えます。(いずれかの操作を行うと表示しますが、点灯後数秒でディスプレイの表示が消えます。)

●映画の「会話」の音量を大きくしたいときには

センターチャンネルの音量をコントロールします

映画の会話のほとんどはセンターチャンネルから再生されます。会話が聞き取りにくい時は、センターチャンネル音量を調整してください。

• センターチャンネルのレベルは、−6dB〜+6dBの間で1dBずつ調整することができます。工場出荷時の設定は、0dBです。

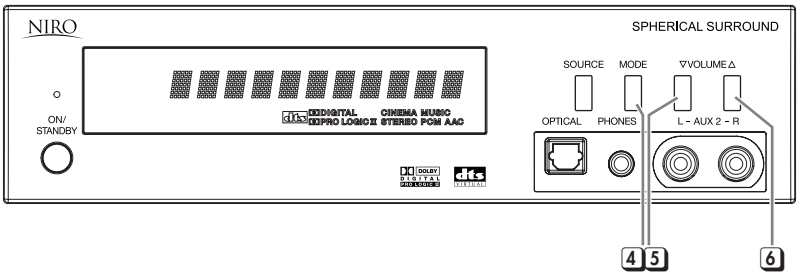
本体から：

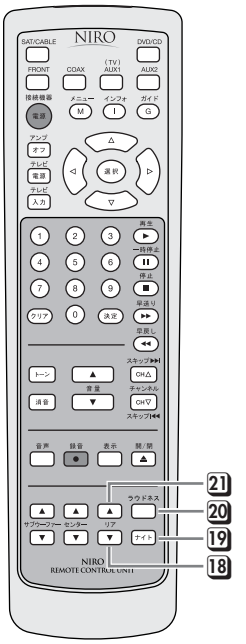
1．本機のフロントパネルの④「**MODE**」ボタンを押して、[CENTER]を選びます。
2．3秒以内に「**VOLUME**」ボタンを押して、センターチャンネル音量を調整します。⑥「**VOLUME**△」(アップ)ボタンでレベルが上がります。⑤「▽**VOLUME**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。

リモコンから：

1．リモコンの「**センターアップ**」ボタン又は「**ダウン**」ボタンを押して、レベルを調整します。
⑬「**センター▲**」(アップ)ボタンでレベルが上がります。⑭「**センター▼**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。

注意：センターチャンネル信号が再生されているときのみ調整可能です。





●サラウンド(リア)左右の効果音を高めたいときには

サラウンド(リア)チャンネルの音量をコントロールします

部屋の条件や、お聞きになっている音楽／映画にあわせてサラウンド(リア)チャンネルの音量を調整することができます。

- サラウンド(リア)チャンネルのレベルは−6dB〜+6dBの間で1dBずつ調整することができます。工場出荷時の設定は、0dBです。

本体から：

1. 本機のフロントパネルの4「**MODE**」ボタンを押して、[SURROUND]を選びます。
2. 3秒以内に「**VOLUME**」ボタンを押して、サラウンド(リア)チャンネル音量を調整します。6「**VOLUME**△」(アップ)ボタンでレベルが上がります。5「▽**VOLUME**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。

リモコンから：

1. リモコンの「**リアアップ**」ボタン又は「**ダウン**」ボタンを押して、レベルを調整します。21「**リア▲**」(アップ)ボタンでレベルが上がります。18「**リア▼**」(ダウン)ボタンでレベルが下がります。

注意：サラウンド(リア)チャンネル信号が再生されているときのみ調整可能です。

●夜間、小さな音量で聞きたいときには

ナイトモードを使用します

ナイトモードは音楽／映画のサウンドトラックの音量の差(ダイナミックレンジ)を圧縮することにより、小さな音を大きくし、大きな音を小さくします。フラットで抑揚の少ない音になる感じはしますが他の人に迷惑をかけないような小さな音量で聞いているときでも、細かな音を聞き逃すことがありません。

本体から：

(1) 本機のフロントパネルの4「**MODE**」ボタンを押して、[Night OFF]を選択
(2)6「**VOLUME**△」ボタンを押して[Night ON]を選択

リモコンから：

リモコンの19「**ナイト**」ボタンを押して、[Night ON]を選びます。通常モードに戻すときはもう一度19「**ナイト**」ボタンを押し、[Night OFF]を選びます。

注意：ナイトモードが選択されている間、ディスプレイに[☽]マークが表示されます。

ラウドネスモードを使用します

音量を下げると、低音が不足気味になったり高音が目立ち過ぎたりします。ラウドネスモードにすれば、音量の大小に関係なくいつでもバランスの良い音で鑑賞できます。

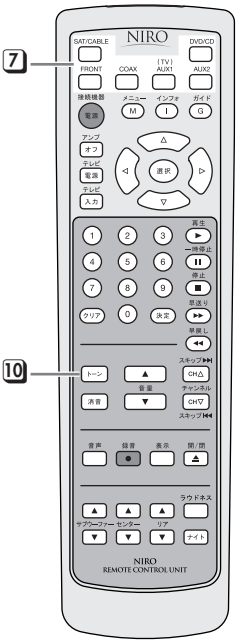
本体から：

(1) 本機のフロントパネルの4「**MODE**」ボタンを押して[LOUD. OFF]を選択
(2)6「**VOLUME**△」ボタンを押して[LOUD. ON]を選択

リモコンから：

リモコンの20[**ラウドネス**]ボタンを押して[LOUD. ON]を選択

■サラウンドモード



● ドルビーデジタル、DTS、AAC、PCM

本機はドルビーデジタルデコーダー、DTSデコーダー、およびAACデコーダーを内蔵しており、5.1チャンネルデジタル信号を再生することができます。

DIGITAL： ドルビーデジタル信号が再生されているとき、「DIGITAL」のインジケーターが点灯します。

： DTS信号が再生されているとき、「」のインジケーターが点灯します。

AAC： デジタルチューナーでAAC放送の番組を受信しているとき、「AAC」のインジケーターが点灯します。

●AACについて

MPEG2-AAC（Advanced Audio Coding)はMPEG（Moving Picture Experts Group)が開発したマルチチャンネル音声フォーマットです。
日本のBS/地上波デジタル放送に採用されています。

AAC設定について

お使いのBS/地上波デジタルチューナーの設定から、デジタル音声出力が「AAC」設定になっていることを確認してください。
（「AAC」デジタル音声出力設定については、お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。）

音声二重放送を聞くには（AAC再生モード）

リモコンから：

BS/地上波デジタル放送に使われるAAC信号がモノラル二重音声出力モードの場合、「Main+Sub」が表示されるまでリモコンの10「**トーン**」ボタンを押し続けてください。その後、「**トーン**」ボタンを押すたびに主音声と副音声を同時に出力する「Main+Sub]、主音声を出力する「Main」、副音声を出力する「Sub]に切替えることができます。

●オーディオコーディングの表示

オーディオコーディングモードの表示と再生チャンネルの構成を把握できるように、アンプのディスプレイにデジタル信号の再生開始後5秒間オーディオコーディングモードを表示します。再生中にリモコンの再生している7「**ソース/入力切替え**」ボタンを押すと、オーディオコーディングモードを再表示することができます。

（例）「3/2.1」と表示された場合は、「フロント3チャンネル/サラウンド（リア)2チャンネル.LFE」を示しています。LFEがない場合「0」が表示されます。
また、二カ国語放送などの主＋副の2チャンネル音声は「1+1」と表示されます。

●ドルビープロロジックⅡ

ドルビープロロジックⅡを選ぶと2チャンネルソースをマルチチャンネル化してお楽しみいただけます。ドルビープロロジックⅡにはドルビープロロジックⅡシネマモード(PLⅡ　Cinema)とドルビープロロジックⅡミュージックモード(PLⅡ　Music)があります。

PLⅡ　Cinema

ドルビーサラウンド録音された映画ソースをはじめ、一般的なステレオ録音ソースの再生に適したモードです。主にステレオ音楽成分を多く含むソースの場合、Musicモードの方がより効果的な場合もあります。視聴結果によって、効果的なモードを選択してください。

PLⅡ　Music

ステレオ音楽信号のサラウンド再生に適したモードです。音楽信号は、ジャンル、状態(ライブ音楽等)など信号ソースの内容により音場の広がり方が異なります。自然な、且つ広がり感のある音楽再生をおこないます。

ドルビープロロジックⅡオート(PLⅡ　Auto)

ドルビープロロジックⅡ　Autoが選択された場合、ドルビーデジタル信号がドルビーサラウンド識別信号を持っていれば自動的にドルビープロロジックⅡのCinemaモードになります。

- ドルビープロロジックⅡは、ドルビーデジタル、DTS、AACの2chと2.1ch時、及びPCM、アナログ入力時に動作します。
- ヘッドホンの使用中にはドルビーサラウンドプロロジックⅡを使用することはできません。プロロジックⅡがオンの状態でヘッドホンが接続されると、プロロジックⅡは自動的にオフになります。

●EXPモード

明確なセンター定位と自然なステレオの広がりが得られるモードです。

●各モードの切り替え方法

ステレオ信号再生時：

ステレオ信号の再生時、初期設定では[Stereo EXP]に設定されています。Pro LogicⅡや通常のステレオモードに戻るときにはディスプレイに「Stereo EXP」が表示されるまでリモコンの⑩[**トーン**]ボタンを押し続けてください。その後、「**トーン**」ボタンを押すたびに次のように切り替わります。

→ Stereo EXP → PLII Auto(デジタル入力の場合のみ) → PLII Cinema → PLII Music → Normal →

マルチチャンネル信号再生時：

マルチチャンネル信号の再生時、初期設定では[5.1 EXP]に設定されています。通常のサラウンド処理に戻す場合はディスプレイに「5.1EXP」が表示されるまでリモコンの⑩[**トーン**]ボタンを押し続けて[Normal]を選択してください。その後、「**トーン**」ボタンを押すたびに次のように切り替わります。

→ 5.1 EXP → Normal →

●サラウンドチャンネルモード

サラウンドチャンネルの効果を選択することができます。

- Natural 1:　自然な音色で音楽やスポーツ、自然環境音の再生に適しています。
- Natural 2:　自然な音色で映画の再生に適しています。
- Enhanced: サラウンドチャンネルが視聴者より後方になるフィルタを採用しています。

本体から：

(1) フロントパネルの「**MODE**」ボタンを押して［Natural 1］を選択
(2)「**VOLUME**△」ボタンを押して［Natural 2］を選択
(3)更に「**VOLUME**△」ボタンを押して［Enhanced］を選択

リモコンから：

(1) リモコンの⑩［**トーン**］ボタンを押して［Natural 1］を選択
(2)「**音量▲**」ボタンを押して［Natural 2］を選択
(3)更に「**音量▲**」ボタンを押して［Enhanced］を選択

●PCMについて

アナログ音声信号を圧縮せず、そのままデジタル信号化して録音・伝送する信号フォーマットです。CDやDVDオーディオの録音方法として採用されています。
PCM方式では、音を一定時間ごとに数値化（サンプリング）して記録します。「PCM」は、パルス・コード・モジュレーションの略で、アナログ信号をパルスの符号にして変調記録します。

- PCMで入力可能なサンプリング周波数は、32kHz、44.1kHz及び48kHzです。88.2kHz、96kHzには対応していません。

●シグナルディテクト切り替えモード

ご使用のDVDプレーヤーやTV、PCとの相性によってはDolbyデジタルやDTS、AAC等の信号がPCM信号に切り替わった際に一瞬「カリッ」というノイズが出てしまうことがあります。このよう場合には、MODEボタンを押して［SG DET 1］を選びます。

本体から：

(1) フロントパネルの「**MODE**」ボタンを押して［SG DET 2］を選択
(2)「**VOLUME**▽」ボタンを押して［SG DET 1］を選択
(3) 本機の電源を切り、再度入れ直すとセットが完了します
注）誤動作を防止するため、本機能はリモコンでの切り替えはできません

■トリムレベルの調整

フロント、リアそれぞれ左右のチャンネルのレベル調整が1dBステップで可能です。スピーカーが設置されている場所の環境によって、左右の再生レベルが異なる場合に使用します。
注）トリムレベル調整はヘッドフォン出力には影響しません。

本体から：

(1) フロントパネルの「**MODE**」ボタンを押して[Front Bal]を選択
(2) 「**VOLUME**△」ボタンを押すたびに1dBずつフロントLチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[R1]から[R6]まで変化します。
(3) 「**VOLUME**▽」ボタンを押すたびに1dBずつフロントRチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[L1]から[L6]まで変化します。
(4) フロントパネルの「**MODE**」ボタンを押して[Rear Bal]を選択
(5) 「**VOLUME**△」ボタンを押すたびに1dBずつリアLチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[R1]から[R6]まで変化します。
(6) 「**VOLUME**▽」ボタンを押すたびに1dBずつリアRチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[L1]から[L6]まで変化します。

リモコンから：

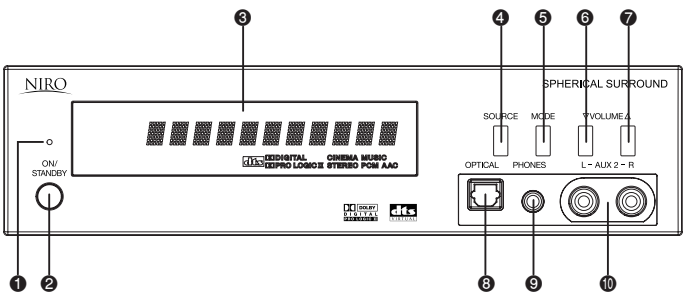
(1) リモコンの[**トーン**]ボタンを押して[Front Bal]を選択
(2) 「**音量▲**」ボタンを押すたびに1dBずつフロントLチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[R1]から[R6]まで変化します。
(3) 「**音量▼**」ボタンを押すたびに1dBずつフロントRチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[L1]から[L6]まで変化します。
(4) リモコンの[**トーン**]ボタンを押して[Rear Bal]を選択
(5) 「**音量▲**」ボタンを押すたびに1dBずつリアLチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[R1]から[R6]まで変化します。
(6) 「**音量▼**」ボタンを押すたびに1dBずつリアRチャンネルのレベルが下がります。その際、ディスプレイ表示は[L1]から[L6]まで変化します。

■各種設定状態の保存

電源ケーブルを抜いた場合においてもケーブルを抜く前のボリュームのレベルや各モード設定、入力ソースを記憶することができます。設定状態を初期状態に戻す際には、電源を入れた後、直ぐにディスプレイに入力モードが表示されるまでフロントパネルの**VOLUME**△（**アップ**）▽（**ダウン**）ボタンを同時に押し続けます。

各部の名称とはたらき

■アンプ(フロントパネル)



❶ 電源スタンバイインジケーター
スタンバイ中は赤色のLEDが点灯します

❷ ON／STANDBYボタン
本機の電源のON／スタンバイ(待機)を切り替えます。

❸ ディスプレイ
モードの名称や設定値などを表示します。

❹ SOURCE切り替えボタン
本機に複数の機器を接続したときに、どの機器の音声を聞くかを切り替えるときに押します。「**SOURCE**」ボタンを押すごとに

「DVD/CD」
↓
「SAT/CABLE」
↓
「COAXIAL」
↓
「FRONT OPT」
↓
「AUX1」
↓
「AUX2」

の順に切り替わります。

❺ MODEボタン
サブウーファーレベルや高音、低音の調整、ディスプレイの点灯／非点灯の切替等を行います。

「**MODE**」ボタンを押すごとに
「SUB」→「Bass」→「Treble」→「Natural 1」→
「LOUD.OFF」→「Night OFF」→「SG DET 2」→
「Front Bal」→「Rear Bal」→「Display ON」の順に切り替わります。

❻ ボリュームダウンボタン
音量を下げます。

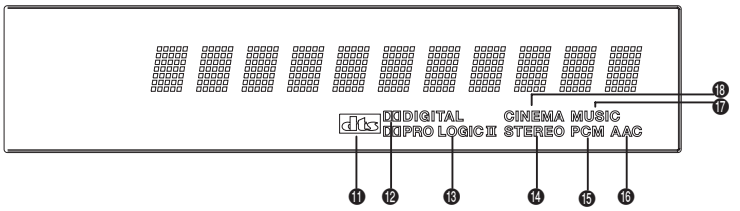
❼ ボリュームアップボタン
音量を上げます。

❽ 光デジタル音声入力端子
光デジタル音声ケーブルを接続してください。この端子には、ゲーム機などを接続します。

❾ ヘッドホン接続端子

❿ アナログ音声入力端子(AUX2)
アナログ音声ケーブルを接続してください。この端子には、ビデオカメラ・カセットデッキ・CD・MDプレーヤーなどのアナログ出力端子の接続が可能です。

■アンプ(ディスプレイ)



⓫ dts表示
dts音声信号が再生されているとき、「dts」が点灯します。

⓬ ドルビーデジタル表示
ドルビーデジタル音声信号が再生されているとき、「DIGITAL」が点灯します。

⓭ ドルビープロロジックⅡ表示
2チャンネル音声信号を5チャンネル音声信号に変換したとき、「PRO LOGIC Ⅱ」が点灯します。

⓮ Stereo表示
2チャンネル音声信号を再生したとき、「STEREO」が点灯します。

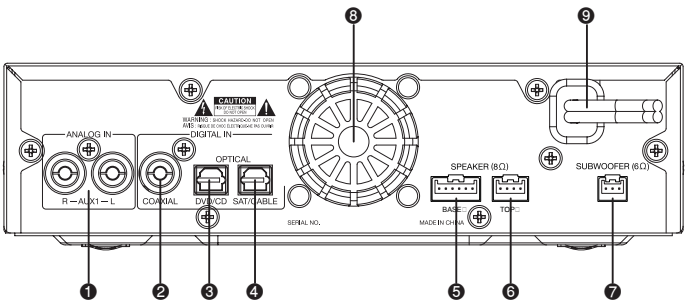
⓯ PCM(パルス・コード・モジュレーション)表示
PCM信号を再生中に「PCM」が点灯します。

⓰ AAC(アドバンスド　オーディオ　コーディング)表示
BSデジタルチューナーなどで、AAC信号を受信したとき「AAC」が点灯します。

⓱ Music表示
ドルビープロロジックⅡミュージックモードで、2チャンネルオーディオ信号を再生したとき、「MUSIC」が点灯します。

⓲ Cinema表示
ドルビープロロジックⅡシネマモードで、2チャンネルオーディオ信号を再生したとき、「CINEMA」が点灯します。

■アンプ(リアパネル)



❶ アナログ音声入力端子(AUX1)
お使いのテレビの音声出力を本機の[ANALOG IN]入力端子へ接続してください。

❷ COAXIAL(同軸)デジタル音声入力端子(DVD/CD or SAT/CABLE)
お使いのDVDプレーヤー又は、BSデジタル／ケーブルテレビチューナーの同軸デジタル音声出力を、本機の[COAXIAL]入力端子に接続してください。

❸ 光デジタル音声入力端子(DVD/CD)
お使いのDVDプレーヤーの光デジタル音声出力を本機のDVD/CD入力端子[OPTICAL(光)]デジタル入力端子に接続してください。

❹ 光デジタル音声入力端子(SAT/CABLE)
お使いのBSデジタル/ケーブルテレビチューナーの光デジタル音声出力を本機のSAT/CABLE[OPTICAL(光)]デジタル入力端子に接続してください。

❺ ベーススピーカー接続端子

❻ トップスピーカー接続端子

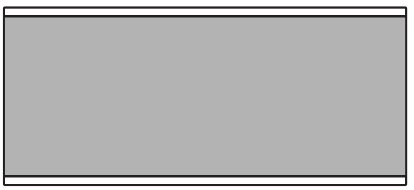
❼ サブウーファー接続端子

❽ 冷却ファン
注意：
- 本機は、使用中に熱くなることがあります。長時間ご使用の際には、危険ですので熱くなっている部分には触れないでください。

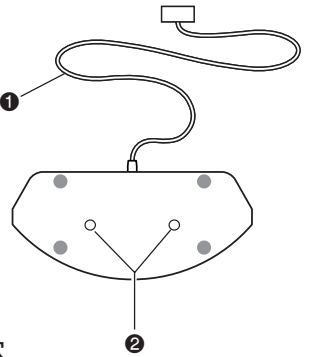
❾ 電源コード

■トップスピーカー

前面



底面



❶ スピーカーケーブル(5m)　❷ スピーカーマウント用アクセサリー取り付け穴

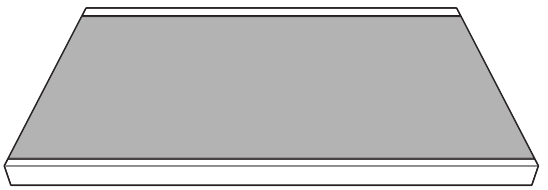
注意：

● トップスピーカーは、防磁処理されています。

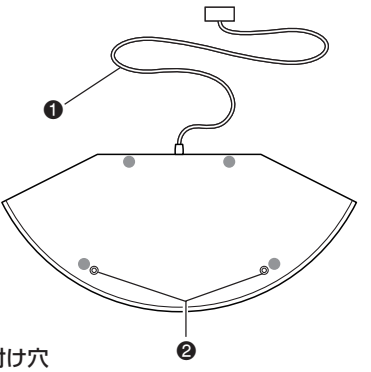
● スピーカーをスピーカーマウント用アクセサリーに取り付けた場合は、確実に固定されていることを確認してください。

■ベーススピーカー

前面



底面



❶ スピーカーケーブル(5m)　❷ スピーカーマウント用アクセサリー取り付け穴

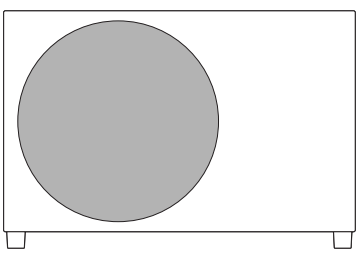
注意：

● ベーススピーカーは、防磁処理されています。

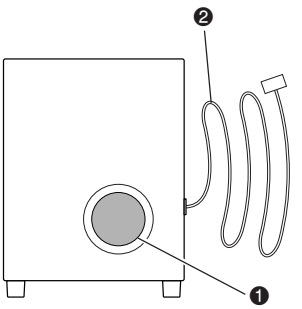
● スピーカーをスピーカーマウント用アクセサリーに取り付けた場合は、確実に固定されていることを確認してください。

■サブウーファー

前面



右側面



❶ バスレフポート　　❷ スピーカーケーブル(5m)

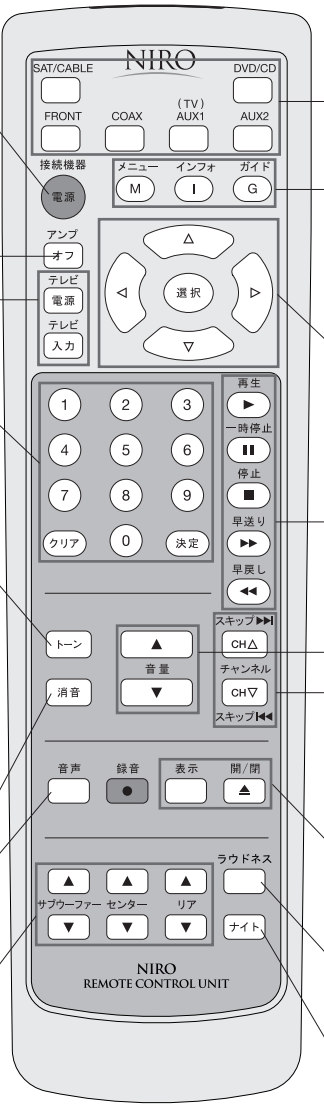
注意：

● バスレフポートの中に物を入れないで下さい。

● バスレフポートの周りに空間を開けて下さい。

■リモコン

6つの「ソース／入力切り替え」ボタンにプログラムコードの設定を行うと、接続機器の操作を本機のリモコンで行うことができます。(27ページ参照)



プログラムコードを使用すると、HDD/DVDレコーダー、DVD/CDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナー、ビデオデッキの電源ボタンとして使用できます。

本機の電源を切ります。

プログラムコードを使用すると、テレビのON/OFFや画面入力の切り替えを行います。

プログラムコードを使用すると、テンキー、決定ボタン、クリアボタンはテレビのチャンネル番号やDVDプレーヤーのチャプター番号、CDプレーヤーのトラック番号などの入力に使用できます。

本機の高音(Treble)、低音(Bass)を調整します。また、サラウンドチャンネルモード、ラウドネスモード、シグナルディテクトモード、ディスプレイの点灯／非点灯の切り替えができます。
このトーンボタンを長押しすることでEXPモードやDolby Pro Logic Ⅱの各モードを切り替えることができます。

本機の再生音量を消音(ミュート)します。

HDD/DVDレコーダーやDVDプレーヤーの音声トラックの切り替えに使用します。

- サブウーファーの音量
- センターチャンネルの音量
- サラウンド(リア)チャンネルの音量

の調整に使用します。

ソース／入力切り替えボタンは、本機の電源を入れ、また視聴する接続機器を選択するために使用します。

プログラムコードを使用すると、HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナーのメニュー・インフォ・ガイドボタンとして使用できます。

プログラムコードを使用すると、HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナー、DVRのナビゲーションボタンとして使用できます。

プログラムコードを使用すると、HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、ビデオデッキなどのコントロールに使用できます。

本機の音量を調整します。

プログラムコードを使用すると、テレビやBSデジタル／ケーブルテレビチューナーのチャンネル、DVDプレーヤーのチャプター、CDプレーヤーのトラック選択に使用できます。

プログラムのコードを使用すると、DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの「Display」「Open/CLOSE」キーとして使用できます。

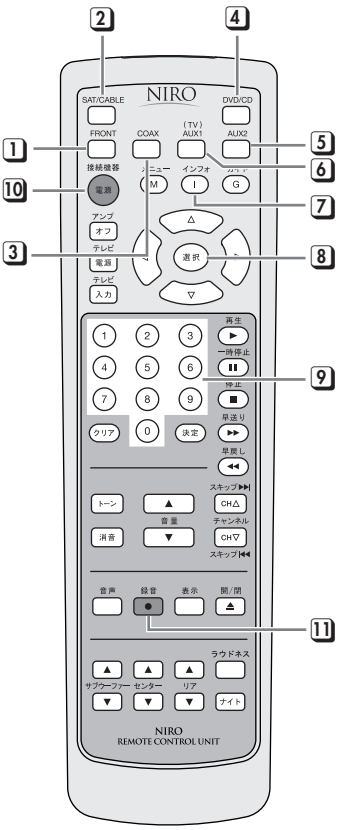
ラウドネスモードを選択します。

再生音量の音量の差(ダイナミックレンジ)を小さくするナイトモードを選択します。

他の機器をリモコンで操作する

お使いのAV機器に対応する3桁のコード番号を入力することにより、本機付属のリモコンで本機以外の機器を操作することができます。コード番号は35ページ～の表をご参照下さい。
注意:FRONTにはコード番号を入力することができません。

■設定方法



ステップ1：操作したいAV機器の電源を入れます。

ステップ2：2～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンと8「**選択**」ボタンを同時に、2～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンが赤く点灯するまで押します。対応するボタンが約20秒間点灯するので、その間に次のステップを完了して下さい。

ステップ3：リモコンを対象機器に向け、該当するメーカー／ブランドに割り当てられている3桁のコード番号を9「数字」ボタンを使って入力して下さい。正しいコード番号の場合、対象機器の電源が切れます。

※ 対象機器のブランドに複数の番号が割り当てられている場合は、機器の電源が切れるまでコード番号を順番に入力して下さい。電源が切れるコード番号が正しいコード番号です。

ステップ4：対応する2～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンを押して、コード番号を保存します。2回点滅してから消灯します。

ステップ5：リモコンの全機能を試して下さい。うまく作動しないキーがある場合には、対応するブランドに割り当てられている他の番号を使ってステップ2以降を繰り返して下さい。

例：DVDプレーヤーのコードを設定する

ステップ1：操作したいDVDプレーヤーの電源を入れます。

ステップ2：4「**DVD/CD**」ボタンと8「**選択**」ボタンを同時に、4「**DVD/CD**」ボタンが赤く点灯するまで押します。4「**DVD/CD**」ボタンが約20秒間点灯するので、その間に次のステップを完了して下さい。

ステップ3：リモコンをDVDプレーヤーに向け、該当するメーカー／ブランドに割り当てられている3桁のコード番号を入力して下さい。正しいコード番号の場合、DVDプレーヤーの電源が切れます。

※ DVDプレーヤーのブランドに複数の番号が割り当てられている場合は、DVDプレーヤーの電源が切れるまでコード番号を順番に入力して下さい。電源が切れるコード番号が正しいコード番号です。

ステップ4：4「**DVD/CD**」ボタンを押して、コード番号を保存します。2回点滅してから消灯します。

ステップ5：リモコンの全機能を試して下さい。うまく作動しないキーがある場合には、対応するブランドに割り当てられている他の番号を使ってステップ2以降を繰り返して下さい。

●COAXにはDVD/CDプレーヤー又はBSデジタル/ケーブルテレビチューナーのいずれかひとつのコードを割り当てることができます。COAXにDVDプレーヤーのコードを割り当てる場合は以下の設定を行います。

ステップ1：操作したいAV機器の電源を入れます。

ステップ2：3「**COAX**」ボタンと8「**選択**」ボタンを同時に、3「**COAX**」ボタンが赤く点灯するまで押します。

ステップ3：4「**DVD/CD**」ボタンを押します。3「**COAX**」ボタンが一瞬消灯します（BSデジタル/ケーブルテレビチューナーをCOAXに割り当てる場合は4「**DVD/CD**」ボタンの代わりに1「**SAT/CABLE**」ボタンを押します）。

ステップ4：リモコンを対象機器に向け、該当するブランドに割り当てられている3桁のコード番号を入力して下さい。正しいコード番号の場合、対象機器の電源が切れます。

ステップ5：対応する3「**COAX**」ボタンを押して、コード番号を保存します。2回点滅してから消灯します。

ステップ6：リモコンの全機能を試して下さい。うまく作動しないキーがある場合には、対応するブランドに割り当てられている他の番号を使ってステップ4以降を繰り返して下さい。

●お手持ちのAV機器に対応するコードが見つからない場合

本リモコンは人気の高いメーカー／ブランドのコードをできるだけ多く搭載するよう努力しています。しかし、残念ながらあらゆる機器のコードを搭載することは困難です。メモリー容量の制約により、古いモデルやあまり一般的ではないブランドについては省略せざるを得ません。こうした機器を操作したい場合は、学習機能付リモコンのご使用をご検討下さい。

■設定コードの確認

以下の方法でリモコンに設定しているコード番号を確認することができます。

ステップ1：1～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンが赤く点灯するまで対応する1～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンと8「**選択**」ボタンを同時に押します。

ステップ2：7「**インフォ**」ボタンを押します。1～6「**ソース／入力切り替え**」ボタンがそれぞれ1秒間の消灯間隔をはさんでプログラムされたコード番号と同じ数だけ点滅します。

例：それぞれ1秒の間隔をはさんで1回、3回、8回点滅した場合、コード番号が138であることを示します。

■リモコンの初期化

以下の方法でリモコンに設定されているコードを出荷時の状態に戻すことができます。

ステップ1：10「電源」ボタンと11「録音」ボタンを同時に5秒間押します。

ステップ2：6個の1～6「ソース／入力切り替え」ボタンが光りながら3回転します。

■プログラムコードを設定したときのリモコンの機能

HDD/DVDレコーダー、DVD/CDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナー、ビデオデッキの電源ボタンとして使用できます。

AUX1にテレビのコード番号を設定したときにテレビのON/OFFや画面入力の切り替えを行います。

テンキー、決定ボタン、クリアボタンはテレビのチャンネル番号やDVDプレーヤーのチャプター番号、CDプレーヤーのトラック番号などの入力に使用できます。

HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤーの音声トラックの切り替えを行います。

HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナーのメニュー・インフォ・ガイドボタンとして使用できます。

HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、BSデジタル／ケーブルテレビチューナー、DVRのナビゲーションボタンとして使用できます。

HDD/DVDレコーダー、DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの再生制御に使用できます。

テレビやBSデジタル／ケーブルテレビチューナーのチャンネル、DVDプレーヤーのチャプター、CDプレーヤーのトラック選択に使用できます。

DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの「Display」「OPEN/CLOSE」キーとして使用できます。

リモコンボタンの機能一覧

「ソース／入力切り替え」ボタンを押して、それぞれの機器を選択したあとのリモコンの機能の一覧表です。

選択されているソース / ボタン名称	DVD/CD	SAT/CABLE	FRONT
SAT/CABLE, FRONT, COAX, AUX1(TV), AUX2, DVD/CD	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD光入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をSAT/CABLE光入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をフロントパネルの光入力に切り替える。
メニュー	メニュー	メニュー	−
インフォ	インフォ	インフォ	−
ガイド	−	ガイド表示	−
接続機器電源	DVD／CDプレーヤーの電源オン／オフ	衛星／ケーブルチューナーの電源オン／オフ	−
アンプオフ	本機の電源を切る	本機の電源を切る	本機の電源を切る
テレビ電源	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ
テレビ入力	テレビの入力選択	テレビの入力選択	テレビの入力選択
ナビ◁	左	左	−
ナビ▷	右	右	−
ナビ△	上	上	−
ナビ▽	下	下	−
選択	選択／決定	選択／決定	−
テンキー（1〜0）	1〜0	1〜0	−
クリア	クリア	クリア	−
決定	決定	決定	−
再生	再生	−	−
一時停止	一時停止	−	−
停止	停止	−	−
早送り	早送り	−	−
早戻し	早戻し	−	−
スキップ△	スキップ△	チャンネルアップ	チャンネルアップ
スキップ▽	スキップ▽	チャンネルダウン	チャンネルダウン
トーン	トーン	トーン	トーン
消音	消音(ミュート)	消音（ミュート）	消音（ミュート）
音量▲	音量▲(アップ)	音量アップ	音量アップ
音量▼	音量▼(ダウン)	音量ダウン	音量ダウン
音声	音声	音声	音声
録音	−	−	−
表示	−	−	−
開/閉	開/閉	−	−
サブウーファー▲	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ
サブウーファー▼	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン
センター▲	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ
センター▼	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン
リア▲	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ
リア▼	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン
ラウドネス	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え
ナイト	ナイトモード	ナイトモード	ナイトモード

※表の　のない部分のボタンがプログラムコード設定時の機能です。

選択されているソース / ボタン名称	COAX	AUX1 (TV)	AUX2 (ビデオデッキ/DVR)
SAT/CABLE, FRONT, COAX, AUX1(TV), AUX2, DVD/CD	本機の電源を入れ、入力を同軸（COAX）入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をAUX1入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をAUX2入力に切り替える。
メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
インフォ	インフォ	DVDの表示	インフォ
ガイド	–	タイトル表示	ガイド表示
接続機器電源	DVD／CDプレーヤー又は衛星／ケーブルチューナーの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ	AUX2に接続された機器の電源オン／オフ
アンプオフ	本機の電源を切る	本機の電源を切る	本機の電源を切る
テレビ電源	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ
テレビ入力	テレビの入力選択	テレビの入力選択	テレビの入力選択
ナビ◁	左	左	左
ナビ▷	右	右	右
ナビ△	上	上	上
ナビ▽	下	下	下
選択	選択／決定	選択／決定	選択／決定
テンキー（1〜0）	1〜0	1〜0	1〜0
クリア	クリア	クリア	クリア
決定	決定	決定	決定
再生	再生	–	再生
一時停止	一時停止	–	一時停止
停止	停止	–	停止
早送り	早送り	–	早送り
早戻し	早戻し	–	早戻し
スキップ△	チャンネルアップ	ーチャンネルアップ	チャンネルアップ
スキップ▽	チャンネルダウン	チャンネルダウン	チャンネルダウン
トーン	トーン	トーン	トーン
消音	消音（ミュート）	消音（ミュート）	消音（ミュート）
音量▲	音量アップ	音量アップ	音量アップ
音量▼	音量ダウン	音量ダウン	音量ダウン
音声	音声	音声	音声
録音	–	–	–
表示	–	–	–
開/閉	開ー閉	–	–
サブウーファー▲	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ
サブウーファー▼	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン
センター▲	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ
センター▼	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン
リア▲	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ
リア▼	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン
ラウドネス	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え
ナイト	ナイトモード	ナイトモード	ナイトモード

※表の　のない部分のボタンがプログラムコード設定時の機能です。

メーカー名 / ボタン名称	HDD/DVDレコーダー		
	HITACHI	JVC (VICTOR)	MITSUBISHI
SAT/CABLE, FRONT, COAX, AUX1(TV), AUX2, DVD/CD	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。
メニュー	トップメニュー	トップメニュー	トップメニュー
インフォ	画面表示		画面表示
ガイド	メニュー	メニュー	メニュー
接続機器電源	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ
アンプオフ	本機の電源を切る	本機の電源を切る	本機の電源を切る
テレビ電源	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ
テレビ入力	テレビの入力選択	テレビの入力選択	テレビの入力選択
ナビ◁	左	左	左
ナビ▷	右	右	右
ナビ△	上	上	上
ナビ▽	下	下	下
選択	決定	決定	決定
テンキー（1〜0）	1〜0	1〜0	1〜0
クリア	取消	取消し	クリア
決定			
再生	再生	再生	再生
一時停止	一時停止	一時停止	一時停止
停止	停止	停止	停止
早送り	早送り	早送り	早送り
早戻し	早戻し	早戻し	早戻し
スキップ△	スキップ△	スキップ△	スキップ△
スキップ▽	スキップ▽	スキップ▽	スキップ▽
トーン	トーン	トーン	トーン
消音	消音（ミュート）	消音（ミュート）	消音（ミュート）
音量▲	音量▲（アップ）	音量▲（アップ）	音量▲（アップ）
音量▼	音量▼（ダウン）	音量▼（ダウン）	音量▼（ダウン）
音声	音声	音声	音声
録音	録画	録画	録画
表示			
開／閉	開／閉	トレイ開／閉	開／閉
サブウーファー▲	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ
サブウーファー▼	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン
センター▲	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ
センター▼	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン
リア▲	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ
リア▼	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン
ラウドネス	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え
ナイト	ナイトモード	ナイトモード	ナイトモード

※表の　のない部分のボタンがプログラムコード設定時の機能です。

メーカー名 / ボタン名称	HDD/DVDレコーダー		
	PANASONIC	PIONEER	SHARP
SAT/CABLE, FRONT, COAX, AUX1(TV), AUX2, DVD/CD	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。
メニュー	トップメニュー	ホームメニュー	トップメニュー
インフォ	画面表示	画面表示	
ガイド	サブメニュー	メニュー	メニュー
接続機器電源	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ
アンプオフ	本機の電源を切る	本機の電源を切る	本機の電源を切る
テレビ電源	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ
テレビ入力	テレビの入力選択	テレビの入力選択	テレビの入力選択
ナビ◁	左	左	左
ナビ▷	右	右	右
ナビ△	上	上	上
ナビ▽	下	下	下
選択	決定	決定	決定
テンキー(1〜0)	1〜0	1〜0	1〜0
クリア	取消し	クリア	取消／消去
決定			
再生	再生	再生	再生
一時停止	一時停止	一時停止	一時停止
停止	停止	停止	停止
早送り	早送り	早送り	早送り
早戻し	早戻し	早戻し	早戻し
スキップ△	スキップ△	スキップ△	スキップ△
スキップ▽	スキップ▽	スキップ▽	スキップ▽
トーン	トーン	トーン	トーン
消音	消音(ミュート)	消音(ミュート)	消音(ミュート)
音量▲	音量▲(アップ)	音量▲(アップ)	音量▲(アップ)
音量▼	音量▼(ダウン)	音量▼(ダウン)	音量▼(ダウン)
音声	音声	音声	音声切換
録音	録画	録画	録画
表示			
開／閉		開／閉	開／閉
サブウーファー▲	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ
サブウーファー▼	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン
センター▲	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ
センター▼	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン
リア▲	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ
リア▼	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン
ラウドネス	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え
ナイト	ナイトモード	ナイトモード	ナイトモード

※表の　のない部分のボタンがプログラムコード設定時の機能です。

メーカー名 / ボタン名称	HDD/DVDレコーダー	
	SONY	TOSHIBA
SAT/CABLE, FRONT, COAX, AUX1(TV), AUX2, DVD/CD	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。	本機の電源を入れ、入力をDVD/CD入力に切り替える。
メニュー	トップメニュー	トップメニュー
インフォ	画面表示	表示
ガイド	メニュー	メニュー
接続機器電源	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ	DVD/HDDレコーダーの電源オン／オフ
アンプオフ	本機の電源を切る	本機の電源を切る
テレビ電源	テレビの電源オン／オフ	テレビの電源オン／オフ
テレビ入力	テレビの入力選択	テレビの入力選択
ナビ◁	左	左
ナビ▷	右	右
ナビ△	上	上
ナビ▽	下	下
選択	決定	決定
テンキー（1〜0）	1〜0	1〜0
クリア	クリア	クリア
決定		
再生	再生	再生
一時停止	一時停止	一時停止
停止	停止	停止
早送り	早送り	早送り
早戻し	早戻し	早戻し
スキップ△	スキップ△	スキップ△
スキップ▽	スキップ▽	スキップ▽
トーン	トーン	トーン
消音	消音（ミュート）	消音（ミュート）
音量▲	音量▲（アップ）	音量▲（アップ）
音量▼	音量▼（ダウン）	音量▼（ダウン）
音声	音声	音多
録音	録画	録画
表示		
開／閉		開／閉
サブウーファー▲	サブウーファー音量アップ	サブウーファー音量アップ
サブウーファー▼	サブウーファー音量ダウン	サブウーファー音量ダウン
センター▲	センターチャンネル音量アップ	センターチャンネル音量アップ
センター▼	センターチャンネル音量ダウン	センターチャンネル音量ダウン
リア▲	リアチャンネル音量アップ	リアチャンネル音量アップ
リア▼	リアチャンネル音量ダウン	リアチャンネル音量ダウン
ラウドネス	ラウドネスモード切り替え	ラウドネスモード切り替え
ナイト	ナイトモード	ナイトモード

※表の　のない部分のボタンがプログラムコード設定時の機能です。

設定コード表

※下記のメーカー製品であっても形式、年式によっては使用できないものがあります。他社のメーカーコードを使用した場合、機種によっては操作できないもの、また限られた機能しか操作できないものがあります。この場合は、お使いの機器専用のリモコンをご利用ください。

■BSデジタルチューナー(SAT/CABLEに設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
ECHOSTAR	006
HITACHI	003 022
HUGHES	003 022
MITSUBISHI	003 022
PANASONIC	013
RCA	001 014 015
SONY	004
TOSHIBA	003 008

■ケーブルテレビチューナー(SAT/CABLEに設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
GENERAL INSTRUMENT	201 202
JERROLD	201 202
MOTOROLA	201 202
OAK	208
PIONEER	205 209 213
SCIENTIFIC ATLANTA	203 204 213
TOCOM	207
ZENITH	206

■HDD/DVDレコーダー(DVD/CDに設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
HITACHI	122
JVC (VICTOR)	129
MITSUBISHI	123
PANASONIC	120
PIONEER	127
SHARP	125
SONY	121
TOSHIBA	126

※本機に付属のリモコンでコントロール可能なキーは、DVD／HDDレコーダーのPLAY, STOP, REC, F.F., REW, F. SKIP, R. SKIPなどの基本的な動作キー、0～9までのテンキー及びMENUやINFOのキーとなります。詳細は32ページ以降の対応表を参照下さい。

※DVD／HDDレコーダー特有の「30秒スキップ」「HDD/DVDドライブ切り替え」「番組ナビ」「タイトルリスト」などのキーは未対応です。

■DVD/CDプレーヤー(DVD/CDに設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
ALPINE	221
APEX DIGITAL	111 251 246
ARCAM	215
CARY AUDIO DESIGN	174
CLASSE	167
CYBERHOME	220
DAEWOO	220
DENON	226 241
GE	231
GOLDSTAR / LG	235 250
GOVIDEO	137
HARMAN KARDON	243
HITACHI	223
INTEGRA	240
JVC(ビクター)	238
KENWOOD	216
MAGNAVOX	254 237
MARANTZ	253 242
MCINTOSH	217
MEMOREX	163
MINTEK	111
MITSUBISHI	227
MYRYAD	224
NAD	247
NAKAMICHI	225
ONKYO	240
PANASONIC	228
PHILIPS	253 237 214
PIONEER	229
PRIMARE	193 194
PROCEED	245
PROSCAN	231
RCA	231
SAMSUNG	137 236 248
SHARP	252
SONY	145 232 218
TATUNG	224
TOSHIBA	130 233 244 219 164
YAMAHA	249 234 197
ZENITH	250 234 235

■テレビ(AUX1に設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
ADMIRAL	072 081161
ADVENT	247
AKAI	006 146 248
AMARK	112 143
AMPRO	073
ANAM	043 054 055 056 080 112
AOC	058 006 004 112
APEX DIGITAL	026
AUDIOVOX	076 103 245
CANDLE	006 002 003 004
CAPEHART	058
CETRONIC	043
CITIZEN	006 002 003 004 101 103 143
CLASSIC	043
CONCERTO	004
CONTEC	043 051
CORONADO	143
CRAIG	043 054 028
CROWN	043 143
CURTIS MATHES	006 004 101 143
CXC	043
DAEWOO	076 103 055 004 127 143 016 043 044 125 120
DAYTRON	004 143
DWIN	161
DYNASTY	043
DYNEX	211
ELECTROGRAPH	213
ELECTROHOME	024 076 143
ELEMENT	004
EMERSON	005 028 043 048 076 096 155 004 051 143 153 154
EPSON	253
ESA	254
FISHER	007 057
FUJITSU	219 246
FUNAI	028 043 052
FUTURETECH	043
GATEWAY	242 250
GE	006 073 161 004 008 009 034 056 074 155
GOLDSTAR / LG	004 106 119 110 112 113 127 143
HAIER	004
HALL MARK	004
HITACHI	163 004 007 009 011 072 010 012 023 075 143 158
HP	251
ILO	212
INFINITY	164
INFOCUS	161

■テレビ(つづき)

メーカー(ブランド)名	コード番号
INKEL	129
INSIGNIA	052 211
JBL	164
JCPENNEY	004 006 008 024 030 101 143
JENSEN	013
JVC(ビクター)	038 001 034 083 206
KENWOOD	006 001
KLEGG	213
KLOSS	002 059
KTV	006 043 143 154
LODGENET	072
LOEWE	207
LOGIK	072
LUXMAN	004
LXI	007 015 052 081 164
MAGNAVOX	006 003 004 022 059 060 061 127 164 094 226 245
MARANTZ	164 006
MATSUI	164
MEMOREX	004 007 072
METZ	088
MGA	024 006 004 042
MINERVA	088
MITSUBISHI	109 024 042 004 040 146 028
MTC	006 004 101
NAD	015 025
NEC	006 134 040 056 007 019 024 237 244
NIKEI	043
OLEVIA	210
ONKING	043
ONWA	043
OPTOMA	241 243
OPTONICA	019 081
ORION	096
PANASONIC	034 056 080 164
PHILCO	006 003 004 024 056 059 060 127 143 164
PHILIPS	164 005 038 093 127 006 003 004 059
PIONEER	023 025 135 176 004 018 006
POLAROID	254 255
PORTLAND	004 143
PROSCAN	161
PROTON	004 058 143 171 173 112
QUASAR	034 056
RADIO SHACK	004 019 127 143 043
RCA	161 006 004 023 024 056 074 152
REALISTIC	007 019
REVOLUTION HD	213

■テレビ(つづき)

メーカー(ブランド)名	コード番号
RUNCO	072 073
SAMPO	006 004 058
SAMSUNG	004 101 127 133 143 089 105 240
SANSUI	211
SANYO	007 053 057 082 020
SCEPTRE	249
SCOTT	004 005 028 043 048 143
SEARS	004 007 015 028 030 057 082 094 143
SHARP	081 019 028 004 022 081 143 175
SIGNATURE	072
SONY	001 126 139
SOUNDESIGN	003 004 028 043
SPECTRICON	112
SSS	004 043
SUPRE MACY	002
SVA	255
SYLVANIA	006 003 059 060 127 164 044 052
SYMPHONICS	052
SYNTAX OLEVIA	210
TANDY	081
TATUNG	056
TECHNICS	034 080
TECHWOOD	004
TEKNIKA	002 003 004 024 028 043 072 101 143
TELERENT	072
TERA	172
TMK	004
TOSHIBA	015 030 007 040 101
TOTEVISION	143
UNIVERSAL	008 009
VIDEO CONCEPTS	146
VIDIKRON	174 188
VIDTECH	004
VIEWSONIC	252
VITO	004
VIZIO	209 254
WESTING HOUSE	076 249 001
WARDS	004 164 008 009 019 028 060 061 072 074 143
YAMAHA	004 006
YORK	004
YUPITERU	043
ZENITH	011 072 073 095 103
ZONDA	112

■ビデオ(AUX2に設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
AIWA	034 161
AKAI	043 046 124 146
AMPRO	072
ANAM	031 103
AUDIO DYNAMICS	012 023 043
BROKSONIC	035 037 129
CANON	028 031
CAPEHART	108
CRAIG	003 135
CUIRTIS MATHES	031 041
DAEWOO	005 108 111 117 017 007 010
DAYTRON	108
DBX	012 023 043
DYNATECH	034 053
ELECTROHOME	059
EMERSON	006 029 035 037 129 153 017 025 027 031 034 036 046 101 131 138
FISHER	003 010 008 009
FUNAI	034
GE	031 072 144 147 063
GO VIDEO	132 155 136
GOLDSTAR / LG	101 004 012
HARMAN KARDON	012 045
HITACHI	004 026 034 043 063 137 150
HUGHES	004
INSTANTREPLAY	031
JCL	031
JCPENNEY	004 012 031 101
JENSEN	043
JVC(ビクター)	048 043 055 060 130 150 152 012 031
KENWOOD	034 150 014 048
LLOYD	034
LXI	003 009 017 034 101 004 106
MAGNAVOX	067 031 034 068 041 170
MARANTZ	067 069 012 031
MARTA	101
MATSUI	027 030
MEI	031
MEMOREX	101 003 014 031 034 053 072 134 139
MGA	045 046 059
MINOLTA	004
MITSUBISHI	059 061 051 004 046 020 045
MTC	034
MULTITECH	024 034
NEC	012 023 043 048

■ビデオ（つづき）

メーカー（ブランド）名	コード番号
NORDMENDE	043
OPTONICA	053 054
PANASONIC	031 070 133 140 163
PENTAX	004 031 063
PHILCO	031 034 067
PHILIPS	031 034 054 067 101 150
PILOT	101
PIONEER	021 004 048
PORTLAND	108
PULSAR	072
QUARTZ	014
QUASAR	031 070 133 140 163 014
RADIO SHACK	123
RCA	144 041 031 004 034 140 147
REALISTIC	003 008 014 031 034 053 054 101 010
RICO	058
RUNCO	072
SALORA	014
SAMSUNG	017 113 115 124 122
SANSUI	043 135 048
SANYO	003 014 134
SCOTT	017 037 129 131
SEARS	003 004 008 014 017 081 101 010
SHARP	053 031 054 159
SHINTOM	024
SONY	001 057 058 003 052 053 031 154 009
SOUNDESIGN	034
STS	004
SYLVANIA	031 034 059 067
SYMPHONIC	034
TANDY	034 010
TATUNG	043
TEAC	034 043
TECHNICS	031 070
TEKNIKA	031 034 101
THOMAS	034
TMK	006
TOSHIBA	017 131 004 008 059 082 150
TOTEVISION	101
VECTOR	012
VIDEO CONCEPTS	012 034 046
WARDS	003 004 017 024 031 034 053 054 131
YAMAHA	012 034 043
ZENITH	072 034 001 058 080 101 153 048

■デジタルビデオ(AUX2に設定してください)

メーカー(ブランド)名	コード番号
PHILIPS	201 203
SONY	202 204
REPLAY	209
ECHOSTAR	206
MAGNAVOX	203
MICROSOFT	207
MITSUBISHI	205

困ったときは

故障のように見えてもそうでない場合があります。修理やサービスをご依頼される前につぎのことをお確かめください。

症状	原因	参考ページ
音声がでない。	•カンタン接続ガイドとアンプ操作に従ってすべての接続と操作の確認をしてください。	12
	•音量がゼロになっていませんか。	15
	•アンプの表示はMUTE ONになっていませんか。	—
	•希望する音源に対して「ソース/入力切替え」で正しく外部の機器を選んでいますか。	23 26
	•ヘッドフォンが接続されていませんか。	13
	•サンプリング周波数が88.2kHz、または96kHzのデジタル信号が入力されていませんか。	21
サラウンド（リア）チャンネルの音が出ない。	•DVDプレーヤーのデジタル出力設定が、DolbyDigital5.1chおよびDTS再生するようになっていることを確認してください。	—
リモコンが正常に動かない。	•電池の極性は合っていますか。	5
	•電池が消耗していませんか。	—
	•本体との距離や角度は適切ですか。	5
	•本体との間に障害物がありませんか。	5
	•本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯、直射日光等）が当たっていませんか。	—
電源が入らない。	•電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	—
	•保護回路が動作している可能性があります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってからもう一度差し込んでください。	—
スピーカーから出る音のバランスが悪い。	•左右の壁から均等に離した位置に、スピーカーを置いていますか。	6
	•スピーカーの近くに障害物がないことを確認してください。	6
	•トリムレベルの調整は適切ですか。	22
ディスプレイ表示が出ない。	•ディスプレイ非表示モードに設定されていませんか。	17
再生音が大きくなったり小さくなったりする。	•ナイトモードに設定されていませんか。	18

注意:エラー表示が出た場合は、本機の不具合が生じている可能性がありますのでサービスをご依頼ください。

仕様

アンプ

スピーカー出力/インピーダンス：30W×5(RMS)/8Ω (SPHERICAL SURROUND SYSTEM) 27W×5(RMS)/8Ω (NS-600)
サブウーファー出力/インピーダンス：50W(RMS)/6Ω (SPHERICAL SURROUND SYSTEM) 45W×5(RMS)/8Ω (NS-600)
チャンネルセパレーション　1KHz：AUX1-IN、AUX2-IN‥‥50dB以上
S/N(A-Weighted)：AUX1-IN,AUX2-IN‥‥70dB以上
残留ノイズ(A-Weighted)‥‥0.9mV以下
入力感度：AUX1-IN.AUX2-IN‥‥350mV
トーンコントロール：
　Bass:‥‥-6dB～+6dB/100Hz(2dBステップ)
　Treble‥‥-6dB～+6dB/1KHz(2dBステップ)
　Subwoofer‥‥-10dB～+10dB(1dBステップ)
音声入力端子：デジタル入力(光)：3系統　デジタル入力(同軸)：1系統　アナログ入力：2系統
音声出力端子：ベース/トップスピーカー(8Ω)　サブウーファー(6Ω)　ヘッドホン(16～50Ω、推奨32Ω)
対応オーディオフォーマット：Dolby Digital、DTS、AAC、Dolby Pro LogicII
電源：AC100V、50/60Hz
消費電力：動作時　250W、待機時：1.8W
外形寸法(幅x高さx奥行き)：200x55x296mm(突起部を除く)
重量：2.2Kg

リモコン

形式：赤外線、他社AV機器用プリセットコード対応
外形寸法　(幅x高さx奥行き)：58x206x22mm(突起部を除く)

ベーススピーカー

	SPHERICAL SURROUND SYSTEM	NS-600
形式	フルレンジ密閉型	
スピーカーユニット	9cm (3.5インチ)コーン型防磁設計	8cm (3インチ)コーン型防磁設計
インピーダンス	8Ω	
外形寸法(幅x高さx奥行き)	354x121x158mm(突起部を除く)	290x103x140mm(突起部を除く)
重量	約2.3Kg(ケーブルを除く)	約1.4Kg(ケーブルを除く)
ケーブル長	約5m	

トップスピーカー

	SPHERICAL SURROUND SYSTEM	NS-600
形式	フルレンジ密閉型	
スピーカーユニット	6cm (2.5インチ)コーン型防磁設計	5cm (2インチ)コーン型防磁設計
インピーダンス	8Ω	
外形寸法(幅x高さx奥行き)	200x92x87mm(突起部を除く)	170x72x75mm(突起部を除く)
重量	約0.9Kg(ケーブルを除く)	約0.6Kg(ケーブルを除く)
ケーブル長	約5m	

サブウーファー

	SPHERICAL SURROUND SYSTEM	NS-600
形式	バスレフ型	
スピーカーユニット	20cm(8インチ)コーン型、非防磁設計	
インピーダンス	6Ω	
外形寸法(幅x高さx奥行き)	430x305x220mm(突起部を除く)	390x305x180mm(突起部を除く)
重量	約10.1Kg(ケーブルを除く)	約7.6Kg(ケーブルを除く)
ケーブル長	約5m	

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
デジタルシアターシステムズ社(米国特許番号5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762及び他国で特許申請中)のライセンス契約に基づき製造されています。DTSとDTS VIRTUALはデジタルシアターシステムズ社の商標です。
AAC特許番号は以下のとおりです：
5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5 400 433; 5,222,189; 5,357,594; 5 752 225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5,297 236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/557,046; 08/894,844; 5,299,238; 5,299,239; 5,299,240; 5,197,087; 5,490,170; 5,264,846; 5,268,685; RE36,683; 5,581,654; 5,548,574; 5,717,821

製品のデザインと仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

NIRO

株式会社niro1.com

productsupport@niro1.com

© niro1.com Inc 2007

M00805　Rev.1.1